

全高長 第 50 号

平成 21 年 9 月 3 日

独立行政法人 大学入試センター
理事長 吉本高志 様

全国高等学校長協会
会長 戸谷賢司

大学入試センター試験の会場について（お願い）

日頃より、本協会所属高等学校に在籍し、貴センター主催の大学入試センター試験を受験する生徒たちに対し、さまざまなご配慮をいただき感謝いたします。

最近、いくつかの都道府県高等学校長協会から大学入試センター試験の会場設定に関して要望を受けています。

その内容は、交通が不便である地域の受験会場指定についてです。

ご案内のように、交通至便な地域に在住している生徒にとっての試験会場指定は、心理的な部分を含めて受験への影響があまりないと考えられますが、交通が不便な地域に在住している生徒にとってのそれは、時に大きな時間的、精神的、経済的負担を生徒・保護者に強いるものとなることがあります。特に、時節柄、積雪に対する交通機関への影響を心配をしなければならない場合や、宿泊をせざるをえないような状況が生ずる場合には、この負担感が深まる恐れがあります。

確かに、一般試験の場合においては、地方在住の生徒が大都市部の大学を受験する際に、宿泊を余儀なくされる例が多くあることは承知していますが、この場合は、やむをえないことと生徒・保護者が納得できるのではないかと考えます。しかし、センター試験のように、近くに同じ試験を受験できる会場がありながら、遠方の会場に出向かなければならない場合においては、生徒や保護者に対して不公平感を醸成させるのではないかと危惧しています。特に、従来までは比較的近距离での受験が可能であったものが、会場変更により遠方の会場で受験せざるをえなくなった場合に、この感が強くなる傾向が見受けられます。

これまでも、離島に在住する生徒たちのために、島に会場を設置していただいたというような温かいご配慮がなされた例があると聞いています。

全受験生に対して、受験環境をすべて公平に設定することが困難なことは承知していますが、送り出す側といたしましては、不安と緊張の中で入試に向かう生徒たちに少しでも良い条件で受験させ、自らの持てる力を最大限に発揮させたいと思っています。そのための環境作りに対して、特段のご配慮をいただきたくよろしく願いいたします。